

KIIS TOPICS

令和3年8月発行

九州情報大学 TOPICS 発行部会

令和3年度夏号



新型コロナウイルス感染症対策の一環として「Go To 学食！」などを実施

5月の緊急事態宣言期間は、原則として全科目遠隔授業で実施しましたが、6月からゼミや実習など履修者が20名以下の科目から対面授業を開きました。昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、アルバイトができなくなり、日々の生活に影響が出ている学生も多くいるようです。そこで学生支援の一環として、6月21日～30日は学食の全メニューを無料にし、それ以降の前期期間中も特別料金（200円～300円）で提供しました。一人暮らしの学生に話を聞くと「家に籠って、コンビニ弁当ばかり食べていた”チン”には飽きました。学食は、炊き立てのごはんと手作りのおかずなのでとてもうれしい！」とのこと。そのあと揚げたての「から揚げ丼」をおいしそうに食べていました。

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種も順調に進んでいる(?)ようですが、まだまだ感染対策が必要です。本学では、学内入口にサーマルカメラを設置し、体温の管理はもちろんのこと消毒液も学内のいたるところに設置しています。対面授業を行う際は、座れる席を限定して、密集しないようにするとともに、換気にも十分注意しています。しかし、履修者の多い授業はまだ、遠隔授業で実施していますので、遠隔授業がスムーズに実施できるように遠隔授業対策支援室を設置し、教員と学生へのサポートを行っています。さらに今年からは、大人数の授業でも安定した環境で実施できるように遠隔授業専用の「リモートスタジオ」を開設しました。



正規カリキュラム「キャリアデザインI」（3年次選択科目）では、福岡県中小企業家同友会との連携事業の一環として、福岡県



中小企業家同友会所属の経営者の方に講演をしてもらい、その後、ディスカッションを行うという内容ですが、今年はコロナ禍の影響により、遠隔方式での実施となりました。遠隔でのディスカッションがうまくいくのか心配でしたが、このリモートスタジオが開設されたおかげで、とてもスムーズに実施することができました。

画像は令和3年度第3回実施時のものです。
実施日：5/26(水)
受講者：73名
講 師：(株)スクラムソフトウェア
代表取締役 橋 信洋 様

ようこそ九州情報大学へ（新任教員インタビュー）



情報ネットワーク学科 講 師

宮崎 裕士
Yoji Miyazaki

- 専門分野：租税法と税務会計
- 担当科目：(学部)コミュニケーションと自己発見Ⅰ・Ⅱ、会計学、中級簿記演習、大学基礎総合
- (大学院)租税法特論、演習指導、演習Ⅰ・Ⅱ、特別演習Ⅰ・Ⅱ



Q：出身はどちらですか。

A：熊本市の出身です。高校まで熊本にいて、大学から東京に出て、その後また熊本に戻り、福岡に出て、大阪に出て、今に至ります。

Q：趣味は？スポーツはやっていますか？

A：最近の趣味は休日に子供と遊ぶことと食べ歩きです。カレーが大好きです。ただし辛すぎるものはダメです。スポーツは、球技ばかりやっていました。強肩が自慢でしたが、今はどうでしょうか。

Q：いま行っている研究内容をお聞かせください。

A：主な研究としては、包括的所得概念を基礎とした所得税法における寄附金の研究と、役員給与の中でも業績運動給与の研究、および法人税法22条の2における収益認識の研究です。



高校生、在学生へのメッセージ

大学はたくさんありますが、どこでもいったん入ってしまえば出るまでが勝負です。卒業するときに後悔のないように、たくさん遊んで、たくさん学んで、限られた時間を最大限活用してください。何をすれば良いか迷ったら、近くの教職員に尋ねてください。人生の先輩方との距離が近いのは九州情報大学の魅力だと思います。

未来が求める

情報ネットワーク学科 助 教

デ インダ プ ラマタ
Dinda PRAMANTA

- 専門分野：AI(ロボット研究)
- 担当科目：(学部)ビジネスプロセッシング、情報リテラシー演習Ⅰ・Ⅱ、情報テクノジー、情報クロジー演習Ⅰ・Ⅱ、プログラミング実践Ⅱ、機械学習、統計プログラミング、専門セミナー



Q：趣味は？スポーツはやっていますか？

A：旅行が好きで日本の国内をめぐりました。スポーツは、水泳が好きですが、最近は全然やっていません。

Q：いま行っている研究内容をお聞かせください。

A：ロボットなどの組込みシステムをより低消費電力かつ高速に動作させるため、「スパイキングニューラルネットワークをハードウェア化に実装」というテーマに取り組んでいます。最近は、ある連携大学のワークショップに参加し、基礎的なAI教育向けのプログラム研究にも取り組んでいます。

高校生、在学生へのメッセージ

これからも好奇心を強く持って教育に関わっていきたいです。学生の皆さんと一緒に学んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。

情報ネットワーク学科 助 教

堀 治彦
Haruhiko Hori

- 専門分野：租税法
- 担当科目：(学部)財務管理、財務管理論Ⅰ・Ⅱ、ビジネスチャレンジ入門、キャリアデザイン入門Ⅱ、コミュニケーションと自己発見Ⅰ・Ⅱ、大学基礎総合、情報リテラシー演習



Q：出身はどちらですか。

A：秋田県の出身です。雪の多いところから引っ越してきたので、福岡の気候はすごく新鮮です（暑い！）。

Q：趣味は？スポーツはやっていますか？

A：バイクに乗ることが趣味です。九州のいろんなところに行ってみたいですね。また、音楽（聴くのも演奏するのも）や読書、映画鑑賞も趣味です。スポーツは水泳と卓球をやっていました。



Q：太宰府の印象をお聞かせください。

A：月並みですが、学問の神様である菅原道真公が祭神として祀られていることでしょう。2年前に出張で福岡を訪れ、その時も同じことを思い、空き時間に太宰府を訪問しました。その後、このような形でご縁をいただくとは思ってもみませんでしたが、研究者としては身が引き締まる思いです。また、着任してからは、様々な太宰府の魅力に触れつつあります。

高校生、在学生へのメッセージ

福岡一ひいては太宰府に来てからまだ日が浅いですが、様々な魅力にふれる日々が続いています。私の知らない福岡の魅力をぜひ教えてください。また、同じく福岡に来られた方は、一緒に魅力を探求してきましょう。

自分になろう！



Q：出身はどちらですか。

A：2014年の9月にインドネシアの首都であるジャカルタから来ました。以降約7年、日本に住んでいますが、これからも日本のことたくさん知って日本の文化や技術などを身につけたいと思います。



Q：趣味は？スポーツはやっていますか？

A：旅行が好きで日本の国内をめぐりました。スポーツは、水泳が好きですが、最近は全然やっていません。

Q：いま行っている研究内容をお聞かせください。

A：ロボットなどの組込みシステムをより低消費電力かつ高速に動作させるため、「スパイキングニューラルネットワークをハードウェア化に実装」というテーマに取り組んでいます。最近は、ある連携大学のワークショップに参加し、基礎的なAI教育向けのプログラム研究にも取り組んでいます。



学部・大学院 5 年一貫（4+1）プログラム 5 年間で修士の学位を！



学部・大学院 5 年一貫（4+1）プログラムとは、勉学に対する意欲と能力が高い学生に対して早期に高度な大学院の専門教育を受ける機会を設け、最短 5 年間（大学 4 年間+大学院 1 年間）で大学と大学院の博士前期（修士）課程の両方を修了できるプログラムです。大学 3 年次に本プログラムに合格した場合には、4 年次に学部の授業と同時に大学院の 1 年次の授業も履修することができるようになります。そのようにして大学・大学院の継続した指導を受けながら、社会に出る上で強みとなる専門性を短期間に実質的に身に付け、自分自身のキャリアに対する選択肢を広げると共に、早期に社会貢献を可能とするプログラムです。今年度、初めてプログラムの合格者を出すことができました。今回はその合格者で、本学 4 年生の瀧本くるみさんにインタビューをしました。



Q：九州情報大学での初の「4+1」プログラム合格おめでとうございます。正直な感想を。

A：初めての合格者だそうですが、参加できることを喜ばしく感じます。

Q：大学院の授業が始まりましたが、学部とくらべて、大学院の授業はどうですか？

(たいへんなこと、おもしろいことなど)

A：大学院生は人数が少なく、特に現在自分は一对での授業形式となっていることもあります。自分の研究において今後活用できそうな内容を教えていただいたら、自分がわからない部分を丁寧に教えていただいたら、学部より先生との距離が近い環境で授業をしていただいている。

Q：大学院と言えば、研究ですが、どのような研究をされているのですか？

A：「3D ゲルプリンタを用いた人骨組織の作製条件探索と評価」というテーマで研究をしています。細胞が増殖・分化する場として足場材が重要になりますが、従来の足場材を用いた細胞培養では足場材の上から細胞を播種するため組織に不均一性が生じる可能性が



指導教員の荒平講師と

あります。そこで 3D ゲルプリンタを使用して細胞と足場材が一体化した状態にして均一的な人工組織の構築を目指しています。そのため最適な作製条件について研究をすすめています。

Q：将来の希望もしくは就職はどうのように考えていますか？

A：現在の研究を通して身に付けた知識や経験を活かせるような企業に就職したいと考えています。

Q：生活等に変化がありましたか？

A：学内に滞在する時間が多くなりました。過去の研究について調べたり、実験データの整理をしたり、授業の準備をしたりと、以前よりパソコンを活用する機会も増えました。

Q：大学院受験を希望している学生の皆さんへひとこと。（アドバイスなどあれば）

A：大学院博士前期課程は 2 年しかありませんが、進学することで得られる知識や経験は学部以上のものがあると思います。少しでも興味があれば大学院へすすむことをお勧めします。また、現在大学院は社会人の方が多く一般学生が自分一人なので、多くの学部生が大学院へとすすみ、一緒に研究や授業を受けることができる人が増えてくれると嬉しいです！



■九州情報大学大学院

経営情報学研究科 経営情報学専攻 博士前期課程

学部・大学院 5 年一貫（4+1）プログラム

における准生入試要項（一部抜粋）



■募集人員 3 名程度

■出願資格

- (1) 本学の 3 年次生であるが、3 年次編入生でない者
- (2) 3 年次末までの取得見込み単位数が 112 単位以上ある者
- (3) 3 年次前までに取得した専門科目の GPA が 3.5 以上ある者
- (4) 大学院演習指導教員の承認を得た者

■選考方法

論述試験、外国語、口述試験の総合判定

* 詳細は本学教務課へお問い合わせください



情報大 SNS

九州情報大学の公式 SNS はこちらです。情報大の日常的な内容を含めて、随時更新していますので、ぜひご覧ください。フォローをよろしくお願いします。



九州情報大学

公式 Instagram

https://www.instagram.com/kiis_insta_official/



九州情報大学

公式 Twiter

https://twitter.com/kiis_official



九州情報大学

公式 Facebook

<https://www.facebook.com/kiis.jp>



九州情報大学

公式 You Tube

チャンネル名 : kiisdouga



ゼミ紹介

鈴木ゼミ「情報スキルを使って地域の問題に取り組む」3年 吉富 暁樹さん



専門ゼミ 鈴木講師と



本学では、大学のある太宰府市や周辺地域住民のみなさんの問題解決や社会貢献活動などを行っています。今回は、鈴木ゼミで積極的に地域の問題解決にあたっている吉富暁樹さん（陸上部、マーケティング実践研究会でも活躍）を紹介します。

吉富さんは現在3年生ですが、鈴木先生を通じて、太宰府市内で営業している「もり整骨院」さんのホームページ制作にあたっています。最近のホームページ作成は、難しいプログラミング能力を使わなくても気軽にさまざまな手法で作成ができるようになりました。そのおかげで、いまホームページの戦略の中心はページ制作よりもコンテンツ（その中身）に移行しています。吉富さんはそのなかでデザインが豊富で、コンテンツも掲載しやすい無料ホームページ作成クラウドサービスを利用してその整骨院のホームページ作成をしています。整骨院の先生とも細かにコミュニケーションを取りながら制作にあたっていて、地域の方々とこうやって接して活動ができるのがとてもうれしいそうです。



さて、インターネットクラウドサービスを利用することは多くのメリットがあります。とくにネット上でホームページを管理する場合ネットを通じて、一つのホームページを複数の管理人がそれぞれ違う場所で管理できるというメリットがあります。吉富さんも大学や自宅で作成して、その状況を作成依頼者に常に見てもらっているそうで、依頼者も自宅や仕事場でホームページの管理画面に入つて、チェックしながらたまに修正などをくわえているそうです。無料クラウドソフトを利用することでコストもおさえられ、費用対効果は抜群。学生にとってはIT関連のスキルアップ、依頼者にとっては、費用もそんなにかかりず、理想に近いホームページができるという双方にとってメリットのある活動になっています。

このようにゼミの活動では、個人個人が学外の皆様、とくに地域の商店や企業などにHP作成やSNSのリテラシー指導などを積極的に行ってています。



「もり整骨院」森和孝院長と打合中



ようこそ 先輩

「起業しました。」

CEO



Q: まずは、自己紹介をお願いします。

A: ワクワクを演出するホームページ制作会社、株式会社LIMの代表取締役の森園英知です。平成25年度卒業です。

Q: 起業されたということですが、差支えなければ経緯を教えてください。

A: もともと起業欲はあったので、タイミングもあってそのまま起業しました。

Q: どのような事業内容か教えてください。

A: クライアント（お客様）様の事業の売上を最速でアップさせるためのホームページ制作、運用を行っております。

Q: 起業したとき、もっとも苦労した点、良かった点を教えてください。

A: 苦労したことは、経営ってよくヒト、モノ、カネなどといいますが、特に「ヒト」

が重要なんだと。もちろん即戦力も必要ですが、ヒトを育てるのにとても苦労しました。最近、目的や目標を持ってない学生が多い気がします。学生のみなさんには「だれ（会社など）のために」、「なにをしたいのか」常に意識を持って就職活動をしてもらいたいですね。良かったことは、いろんな職種の方に巡り会えたことでしょうか。結局どちらも「ヒト」が大事ということになりますね。



卒業生インタビュー (株)LIM 代表取締役 森園 英知さん

Q: 在学中はどんな学生でしたか？

A: 私は、社会人入試により、20代後半で大学に入学しました。それまで全く勉強してませんでしたので、学びたいという意欲は高かったと思います。勉強だけでなく学友会にも参加していました。

Q: 楽しかったことや大変だったことを教えてください。

A: 一般的の学生とは年齢が離れていたので、話題のギャップなどに苦労しましたが、逆にかなりエネルギーももらいました。

Q: サークルやボランティア活動など、なにか打ち込んでいたことはありますか？

A: 学友会会长への就任、学園祭の運営、軽音サークルの運営などを通じて、九州情報大学の広報活動を積極的に行いました。

Q: 大学で学んだことのなかで社会に出て役立ったことがあれば教えてください。

A: 経営学やマーケティングの知識は実務に大いに役立っています。そのなかで特に言いたいのは、大学で学んだ経営学、マーケティング、会計などの「基本」や「基礎」をしっかりと押さえておくことがとても大事だということです。社会人になったとき、その「基本」や「基礎」がほんとうに役立ちます。

Q: これから大学進学を目指す受験生や九州情報大学後輩学生のみなさんへメッセージをお願いします。

A: 大学では、何でもいいから一つは人生に役立つものを見つけてください！そして卒業後は、まずは他人のために働いてみましょう。そしたら、必ず自分の利益に繋がるはずです。

ありがとうございました。

インタビュー：秋吉浩志准教授

